

平成 30 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち						
施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給						
主管課名	水道課								
関係課名									
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> 安全でおいしい水が、将来にわたって安定的に供給されています。 								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市民・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 水道水を大切に使います。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 水質検査、水道施設の維持管理を行い、安全な水道水を供給します。 水道の利用促進を図るため、水道に関する情報提供を行います。 老朽施設、管路の更新を継続的に行うため、経営の効率化、健全化に努めます。 							
	その他 (地域)								
施策を実行する うえで基本となる事業	基本事業①	水道施設の整備							
	基本事業②	安定した水道事業経営							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	1,012,755	822,675	849,577	1,192,455	777,100	809,668
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	334,072	336,530	399,143	745,079	339,221	360,345
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	678,683	486,145	450,434	447,376	437,879	449,323
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	26	37	39	39	39	39	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	17,300	18,000	17,960	17,960	17,960	17,960	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	72,556	78,876	75,091	73,834	72,325	72,056	
F. トータルコスト（B+E）		千円	1,085,311	901,551	924,668	1,266,289	849,425	881,724	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式：B/人口）		円	22,998	18,888	19,688	27,922	18,354	19,217
	同 上		円	1,648	1,811	1,740	1,729	1,708	1,710
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	24,646	20,699	21,428	29,651	20,062	20,928
	同 上		円	24,646	20,699	21,428	29,651	20,062	20,928
I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円	24,646	20,699	21,428	29,651	20,062	20,928	
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,194	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	44,036	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132

基本事業概要シート①

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
基本事業名	①水道施設の整備		
基本事業の目的(意図)	老朽化した施設や管路を計画的に更新し、水道水が安定供給されています。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【簡易水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東蔵簡易水道の老朽管(配水管)208mを更新しました。 <p>【増補改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用し、基幹管路843m(導水管680m、送水管163m)を耐震管に更新しました。 老朽管1280mの更新を行いました。 <p>【拡張事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道宇奈月大沢野線の新設にあわせた配水管231mの外259mを布設しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
管路の更新率	%	0.60	0.70	0.60	0.80 1.10	0.85 0.77	0.90 0.79	0.95	1.00
水道管耐震化率	%	10.4	12.9	13.5	18.0 14.1	19.0 14.7	20.0 15.5	21.0	22.0
基幹管路(導水管、送水管、配水本管)の耐震化率 (追加指標)	%	—	2.1	2.5	— 2.5	— 7.2	12.5 13.1	16.2	20.1

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	簡易水道事業特別会計	○ 簡易水道事業	38,427,000	38,426,400	600	B	水道課
2	水道企業会計(資本的支出)	○ 増補改良事業	304,911,280	282,462,120	22,449,160	B	水道課
3	水道企業会計(資本的支出)	○ 拡張事業	40,456,720	39,456,720	1,000,000	A	水道課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			383,795,000	360,345,240	23,449,760		

基本事業概要シート②

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
基本事業名	②安定した水道事業経営		
基本事業の目的(意図)	計画的な料金の見直しを行うなど経営の合理化に努めています。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【水道管理運営事業・簡易水道管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上水道及び簡易水道施設の維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替を行いました。 ・使用料の請求及び徴収業務を行いました。 <p>【水道管理運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の適正管理と業務の効率化を図ることを目的に、水道施設管理マッピングシステムを構築しました。 ・「うおづのうまい水」が2年連続モンドセレクション最高金賞を受賞しました。なお、年間販売数は前年度比3,697本減の22,479本となりました。 ・上水道及び簡易水道料金について、令和元年10月から15%及び20%の増額改定を行うこととし、関係条例を改正しました。 ・簡易水道事業について平成31年4月からの公営企業会計方式を実施するため、条例改正等移行準備を実施しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
料金回収率	%	107.5	100.2	108.9	106.0 106.5	107.0 108.1	108.0 107.6	109.0	110.0
給水人口一人当たりの企業債残高	円	103,276	101,352	105,424	110,000 118,782	108,000 117,816	107,000 117,979	106,000	105,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	簡易水道事業特別会計	○ 簡易水道管理事業	10,400,000	7,531,793	2,868,207	B	水道課
2	水道事業会計(収益的支出)	○ 水道管理運営事業(ボトルドウォーター事業分除く。)	491,533,000	441,790,904	49,742,096	B	水道課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			501,933,000	449,322,697	52,610,303		

施策 No.	17	施策名	水道水の安定供給
平成30年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水道管路の更新率は、平成30年度は0.79%にとどまり、年更新率1%に満たない状況が続いています。 ◆生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して基幹管路843m(導水管680m、送水管163m)を耐震管に更新したことにより、基幹管路(導水管、送水管、配水本管)の耐震化率は、前年度比5.9ポイント増の13.1%と大きく向上しました。しかし、未だ県内10市の中では下位にあります。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆料金回収率は、107.6%(H29年度:108.1%)で100%を超えており、営業活動に必要な経費は、利用料金で賅われています。 ◆建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制することを目指していましたが、平成30年度の充当率は76%であり目標を達成できませんでした。 ◆料金収入に対する企業債元利償還金の比率は54.3%(H29年度:57.1%)と高い状況にあります。企業債元利償還金が多額であり経営を圧迫していることが指標からみてとれます。 ◆水道料金は、平成10年4月以降据え置いています。家庭用料金(20㎡/月あたり)では、県内12事業者の中では4番目の低さです。 <p>※参考:3人世帯の標準的な使用水量20㎡/月の水道料金 魚津市2,640円、黒部市1,642円、滑川市1,852円、県内12事業者平均2,980円(H30年度末現在)</p>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成30年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①水道施設の整備】</p> <p><簡易水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆東蔵簡易水道の老朽管208mを更新しました。 <p><増補改良事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して、導水管680m、送水管163m 計843mを耐震管に更新しました。 <p><拡張事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県道宇奈月大沢野線の新設にあわせた配水管231mの外259mを布設しました。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <p><水道管理運営事業・簡易水道管理事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆簡易水道事業の公営企業会計への移行を進めるため、「固定資産調査及び評価等業務」を委託し資産状況の把握を行いました。 ◆簡易水道料金を上水道との統一を図るため、関係地区への説明会を開催し理解を得るよう努めました。 ◆「うおづのうまい水」が2年連続モンドセレクション最高金賞を受賞しました。 ◆上水道及び簡易水道料金について、令和元年10月から15%及び20%の増額改定を行うこととし、関係条例を改正しました。3人世帯の標準的な使用水量20㎡/月の水道料金が2,640円から3,080円(消費税率アップを含む)となります。(県内10市中5位) ◆簡易水道事業について平成31年4月からの公営企業会計方式を実施するため、条例改正等移行準備を実施しました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き「生活基盤施設耐震化等交付金事業」を活用して、耐用年数を超える基幹管路(導水管、送水管、配水本管)943mの整備・耐震化を進めます。(事業年度:平成29年度から32年度(4か年)) ◆引き続き東蔵簡易水道施設の更新を進めます。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経営状態は、黒字ではあるものの、企業債に依存した状況であることから、95%としてきた建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制し、企業債残高の適正化を図ります。 ◆水道施設管理マッピングシステムにより、管網解析やアセットマネジメント(資産管理)を行い、長期的視点による水道施設の適正管理と業務の効率化を図ります。 ◆簡易水道料金に関しては、上水道料金体系への移行に向けた地元説明を行い、理解を得ていきます。 ◆水道利用者の利便性向上のため、各種手続きの簡素化等を検討します。 			

部会評価
(協議結果、今
後の方針及び
課題等につい
て記載)

◆老朽化した施設や管路は、計画的に更新すること。特に基幹管路については、耐震管への布設替えを速やかに進めること。

施策の方針
(今後の事務の
取組みの参考)

◆老朽化した施設や管路の更新や耐震化を計画的に進めます。